

石巻・前谷地小5年生

黄金色の稻を 鎌で刈り取り

収穫の喜び実感

15年ほど前からコメ作りを指導している地元の農業と保護者のサポートで、鎌を使って稻を刈り、6カ所に分けて棒掛けした。2週間ほど自然乾燥させた後、千歯こきなどの器具を使って脱穀する。

さん(10)は「鎌が怖かつたけれど、やつていくうちに慣れたので楽しかった。おにぎりにして食べたい」と語った。

石巻市前谷地小(児童19人)の5年生25人が先日、学校近くの水田で昔ながらの稻刈りを体験した。地域の農家から借りている水田(約3ha)で、収穫したのは、5月に植えた「ひとめぼれ」。児童たちは黄金色になった稻穂を手で刈り取り、実りの秋を体感した。

君(11)は「無事に収穫できてよかったです。食べるのが楽しみ」と笑顔で話した。台風などの影響で、当初の予定より1カ月遅れでの収穫となつた。収穫したコメは、年明けにおにぎりにして味わう予定。



鎌を使い手際よく稻を刈り取る児童たち